



# 町長の行政報告を お知らせします

八峰町12月議会定例会が16日から18日までの会期で開かれ、町長の行政報告や補正予算、一般質問のほか提出された議案について審議などが行われました。

町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

## 12月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町峰浜野球場条例の制定について
- 八峰町青少年研修施設条例を廃止する条例制定について
- 能代山本広域市町村圏組合規約の一部変更について
- 町道路線の認定について
- 一般会計補正予算1,381万7千円を追加するもの
- 生活路線バス等の維持費補助金、自立支援給付金、能代市発熱外来センター設置費負担金、林道関係の工事費・負担金、全国瞬時警報システムの設定など
- 特別会計補正予算八峰町国民健康保険事業八峰町沢目財産区八峰町簡易水道事業八峰町公共下水道事業八峰町農業集落排水事業八峰町営診療所
- 八峰町沢目財産区管理委員の選任同意について

## 健康はっぼう21 健康づくりを实践

町では健康増進法に基づき今年3月、住民参加型の八峰町健康増進計画「健康はっぼう21」を策定し、今後8年間この計画に沿い地域全体での「ひろがり、深まり、つながり」の健康づくりを推進することとしています。今年度は、この計画が策定されたことを契機に町民の健康づくりへの気運を高めることを目的として、健康づくり取組隊を公募しました。



6月から10月まで延べ287人の方が参加し、ラジオ体操取組隊、やさしいフィットネス取組隊、楽しく散策取組隊、ハーブで癒され隊の4分野で、健康づくりを実践していただきました。

## 子ども園の統合等を検討 新年度で検討委員会を設置



また、10月24日に健康はっぼう21フェアを、11月14日には自殺予防フォーラムを開催しました。

子ども園の今後の在り方について、昨年9月の決算特別委員会で附帯意見として提出された「子ども園の入園児が全体的に減少傾向にあり、統合も視野に入れた今後の在り方について、早急に検討すべきである。」との意見に基づき、同年10月24日、庁内検討委員会を設置し、検討を重ねた結果、11月27日の会議において統合すべきとの方向づけをしました。

新年度早々に保護者や地域、学識経験者等からなる検討委員会を設置し、地域

## 第2弾プレミアム付商品券 500セット完売

白神八峰商工会では、年末年始の消費刺激策の一環として、第2弾プレミアム商品券を1世帯当たりの限度額を10万円とし、11月1日から本所など5箇所販売しました。商品券が町民に広く認識されたこともあり、順調に売上げを伸ばし、11月26日には用意された500セットが完売となりました。

## 季節ハタハタ漁 浜に活気

秋田県ハタハタ資源対策協議会は、今年度は1歳魚と3歳魚が主体であると予測し、漁獲枠については沖合い1,040トン、沿岸1,560トンの配分としています。11月25日に解禁となり、12月3日に本体の一部が接岸して以来、浜は活気付き、はちも観光

## 多彩なイベントを開催 町の秋をアピール

10月3日開催の二ツ森自然観察会には、県内外から24人が参加しました。青秋林道周辺の紅葉はまだ早かったものの、参加者は二ツ森山頂からの雄大な白神山地のパノラマを満喫していました。翌4日は、NPO法人白神ネイチャー協会との共催による植樹ボランティア事業が行なわれ、県内外からの参加者159人が、ブナやミズナラ363本を植樹し、「山の森、海の森、二ツ森づくり」の活動に心地よい汗を流しました。

また10月10日には、八峰町観光協会主催の「秋の収穫祭はっぼうんめ」のまつりが道の駅みねはまを会場に行なわれ、約4,500人の観光客が訪れ、八峰産の新鮮な野菜や果実、海産物などを買い求めました。昨年引き続き地域食材を用いたはっぼう鍋や八種類の味が楽しめる八峰八色たんぼなどは、長い行列ができ好評を博しました。午後からは深浦町、鱈ヶ沢町との3町連携イベントとして、漁業用の網を秋田県民と青森県民



## 町全体としては 生産調整目標達成

今年度の生産調整の実施状況は、生産数量の配分対象農家929戸のうち、生産調整を達成した農家は869戸となっています。また、生産調整方針に参加しない、いわゆる「非協力農家」は、飯米農家も含めて昨年より4戸少ない60戸となっています。八峰町全体としては今年度も生産調整目標を達成しています。生産調整の協力農家に交

が8人ずつに分かれて引き合う国盗りあみ引き合戦が行なわれ、大盛況のうちに終えることができました。なお、綱引き合戦は翌週の17日、深浦町チャンチャ祭りのお場で後半戦が行なわれ、本県側が通算で5勝6敗と負け越したため、観光上の県境が道の駅はちもりまで移動することになりました。

来年12月には東北新幹線が新青森駅に延伸となり、全線開業による大きな誘客効果が期待されています。本町では青森デステイネーションキャンペーンに参加し、県境を越えた広域での連携を強化することとしており、3町による連携事業もその一環として捉えていますので、今後も交流を深めたいと考えています。



「菜の花プロジェクト」の一環として取り組んでいるナタネ栽培は、今年度3.9ヘクタールの展示圃と一般圃場から収穫したナタネ5.2トンを小坂町の搾油施設に搬入し、食用菜種油の製造を委託しました。660グラム入りの大瓶719本、275グラム入りの小瓶687本を製



## 菜の花プロジェクト 「白神八峰・菜の花美油」販売

付される産地確立交付金については、現在最終集計を行っています。総額で1億2,300万円余りを見込んでおり、年内の交付に向けて作業を進めているところです。

簡易水道については8月31日に、下水道については11月25日に、それぞれの料金統一検討委員会から答申をいただき、先の議会全員協議会でこの答申に基づく負担額や経営試算等について説明したところです。

## 平成22年度 上下水道料金統一へ

これまで、上下水道においては、旧町村の料金体系を引き継ぎ、料金統一が町の大きな懸案事項となっていましたので、この答申案に基づいて料金の統一を図り、来年度からは、受益者の負担が同一の基準で算定され、均しく上下水道のサービスを受けるよう努めます。